

俣山紀一代表追悼・千島学説大阪セミナー  
——現代医学・医療に、どう対処するか①——

今日、現代医学や医療は長足の進歩を遂げていると言われていていますが、ガンによる死亡者は、昨年 34 万人を数えるに至りました。いっこうに減少する兆しさありません。ガン難民は行き場さえわからず、彷徨い続けています。難病、奇病も増え続けています。

医師も増え続けてはいますが、病人は増大する一方です。そして慢性的な医師不足です。国民医療費は 34 兆円、わが国の税収とほぼ同額。医療費の 7 割は老人医療費です。果たして、医療専門家が言うように、医学や医療は進歩しているのでしょうか。

医療現場を知り尽くす酒向猛医師は次のように言います。

『最近の医学の基礎研究にはある種の閉塞感が漂っている。まして臨床医学はもっと深い閉塞状態に置かれている。医学はハイテク化したと言われていたが、それは診断技術や患者管理法に最新の遺伝子工学を応用した検査技術や電子工学を応用したハイテク機器が使用されているため、現場を見ているとハイテク化しているような印象を受けているだけである。基本的な治療法は相変わらず手術療法や薬物療法が中心で、派手な宣伝文句に比較して治療効果は上がっていない』(隠された造血の秘密)。

これが医療現場の現実です。ある種の、ある段階の病気には手術は必要な場合もあります。また、心筋梗塞、大怪我、大火傷などの緊急医療には、外科的療法は偉大な力を発揮することも事実です。ですが、手術万能、薬物(化学薬剤)万能では、病気は治癒することはあり得ません。むしろ薬剤の長期服用による『医原病』が蔓延しているのです。医療により新たな病気が生み出されているのです。

更に考えなければならないのは、結核を始め、各種の感染症なども抗菌剤(病原菌を殺す化学薬剤)や抗生物質、予防接種(ワクチン)のお蔭で克服できたなどと、多くの医師も、国民も思い込んでいるが、実際はまったくの虚妄です。これらの感染症が克服されたのは、衛生状態がよくなったのと、食物を含む身体環境が良好になった結果です。

結核を例に取れば、英、仏、独などは、既に 100 年以上前に、患者・死亡者が激減しています。パスやストレプトマイシン(ストマイ)などが開発される、はるか以前にです。

猖獗(しょうけつ)をきわめたわが国の結核も同様です。抗菌剤の開発、結核検診、ツベルクリン反応や BCG などの恩恵では決しありません。事実を確かめねばなりません。

今日、新型インフルエンザに端を発したワクチン騒動も見極めねばなりません。

如何なる病気も、氣・血・動の調和による、自然治癒力の発現なくしては、治癒はありません。ガンもエイズも難病、奇病もです。このことを世に問い続けましょう。

幸い私たちには、千島先生の残された膨大な研究成果。俣山代表は数限りない文章とそれなりの人・組織を築き上げ残してくれました。このことは必ず私たちの羅針盤になります。俣山代表亡き後のこれからの会は、会員の皆様の協力・協働によってのみ、深化・発が展可能です。お互い学び合い、討議し合う中でこそ、会の未来が見えてきます。

何卒、総会・セミナーへの皆様のご参加を宜しくお願い申し上げます。(事務局)

第 1 日目 10 月 30 日(土) 午前 11 時～午後 8 時

悴山紀一追悼 千島学説シンポジウム

茨木福祉文化会館・302 号室——総合司会 小松伸子・向井田昭則

受付開始 10 時 30 分より

会員全国総会 (今後の千島学説研究会について) 11 時～12 時

第 1 部・セレモニー 13:00～14:00

総合司会挨拶

小松伸子

全員合唱「ふるさと」

(もと少女合唱団)

開会の辞

増本勝久(会社会長)

基調講演 自然治癒力とは何か? 大杉幸毅(血液循環療法)

第 2 部・巻頭講演 14:00～14:40

隠された造血の秘密

酒向 猛(外科医)

——腸造血説と幻の造血肝細胞——

—————休憩 14:40～14:50—————

・特別講演 悴山代表の思い出 赤峰勝人 (なずな農園) 14:10

第 3 部・シンポジウム討論 15:10～16:20

嗜好品(酒, 煙草, コーヒー, 紅茶)の身体に及ぼす影響について

——嗜好品は病気の原因か、また病気治癒の妨げなのか——

コーディネーター 鈴木一策 (大学教員)

パネラー ・丸本執正 ・酒向猛 ・加藤茂 ・藤井康三 ・児山國男 ・仁志天映

第 4 部 ・悴山紀一を語る 16:20～17:30

千島先生と私、悴山さんと私との出会い

丸本執正(伯方の塩・代表取締役)

夫・悴山紀一を語る

悴山房子

—————親睦会準備休憩 17:30～17:40—————

第 5 部・親睦会 17:40～19:40

司会・進行

向井田昭則

献杯挨拶

丸本執正

閉会の辞・一発締め

鈴木一策

第2日目 10月31日(日) 午前10時～午後5時

第1部・セレモニー 9:50～10:50

総合司会挨拶 総合司会挨拶 向井田昭則  
全員合唱 もと少女合唱団  
開会の辞 酒向 猛  
基調講演 エネルギー オルゴンリングを手にして 小松健治(あうん健康庵)  
——千島学説と近年の生体構造研究から科学する——

第2部・巻頭講演 10:50～12:10

明治期の医師法と漢方 小島秀樹(国際弁護士)  
——帝國議会の議事録を中心に——  
断食で生まれ変わる 鈴木一策(大学教員・哲学)

———昼食休憩 12:10～13:10 ———

第3部 千島学説とその応用及び実践 13:10～15:10

千島学説と大谷光瑞師そして EM 増本勝久(会社会長)  
究極の粉ミルク療法 徳永 進(螺旋・編集)  
千島学説実践道場を主宰して 藤井康三(千島学説実践家)  
自然農法による野菜作りを通して気づいたこと 杉本徳仁(自然農法家)  
健康セミナー山口大会での変化 藤井久代(地域を良くする)  
結界における氣と竹炭 新野 恵(竹炭健康家)  
千島学説と自然野菜 鈴木民子(自然農法)  
千島学説的“こころ”の回復をめざして 高橋秀明(会社員)

———休憩 15:10～14:30 ———

第4部 特別講演 15:20～16:30

食は命の土台 健康は人生に柱 竹内英二(医食コラ・代表事)  
ソマチッド小体が電気二重層を形成するメカニズム 高尾征治(鉄科学・技術研究)

第5部 参加者との対話 ——質問・疑問に答える—— 16:30～17:30

司会 鈴木一策

第6部 フィナーレ 17:30～17:40

閉会の辞 小松健治  
一本締 増本勝久